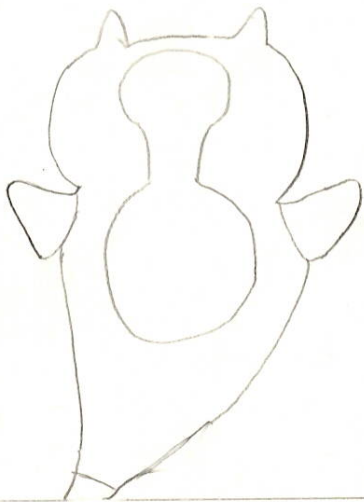


地球史上最大の大量絶滅！

今から約二億五二〇〇年前のペルム紀末に大量絶滅がおこった。このときに海の無脊椎動物の種の最大約九十パーセントが姿を消したとされている。

この大量絶滅は全地球レベルで急激な環境変化がおきたことが原因とされている。ただし、その大量絶滅がおこるほどの環境変化をひきおこした原因は何だったのだろうか？



くろおね

大量絶滅がおこる約五〇〇の万年前、パズルのピースが組み合わさるようになり、地球上に散らばっていた大陸が集合しはじめ、超大陸パンゲアの形成が始まった。

大陸が集まることにより、空は曇りがちになった。地表に太陽光が十分に届かなくなり、地表の気温が下がり始めた。それまでの温暖な気候で順応していた多くの生物は寒さに耐えきれずに死滅するものが見られた。そこから地球の生物の生命に死の影が忍び寄りだした。こうして、地球史上最大の絶滅事件が静かに幕を閉じた。

END